

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

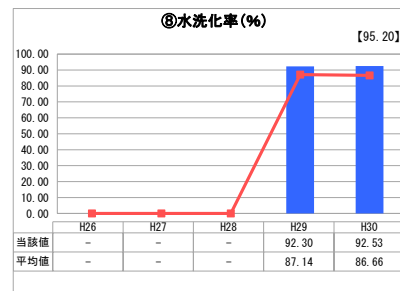
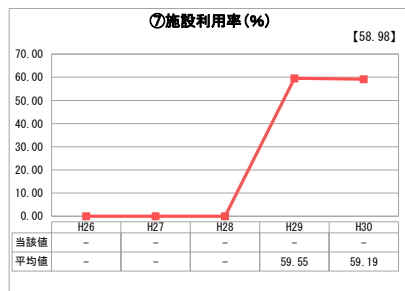
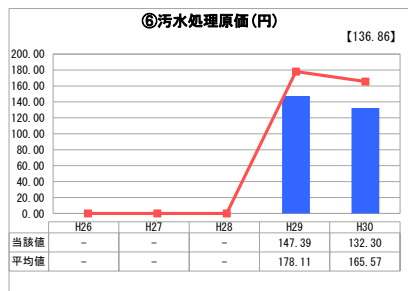
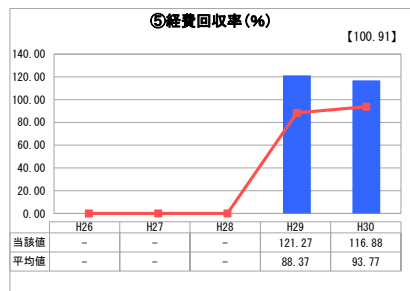
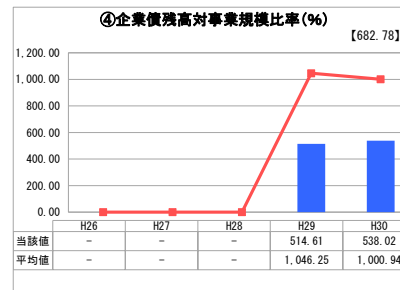
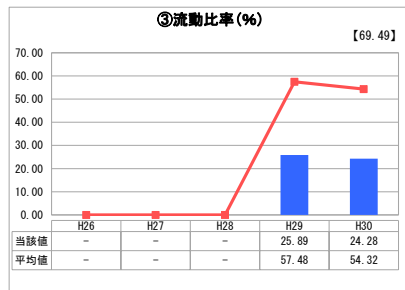
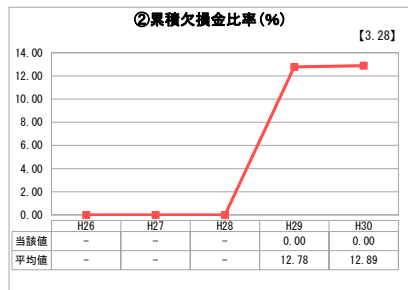
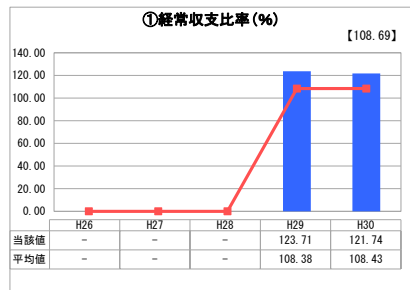
岐阜県 可児市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	55.70	89.91	90.88	3,207

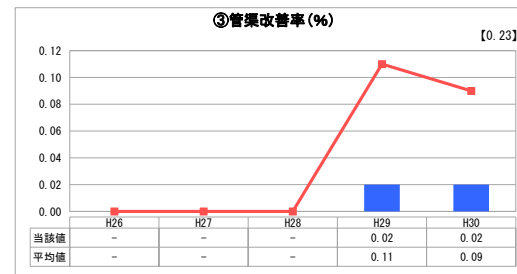
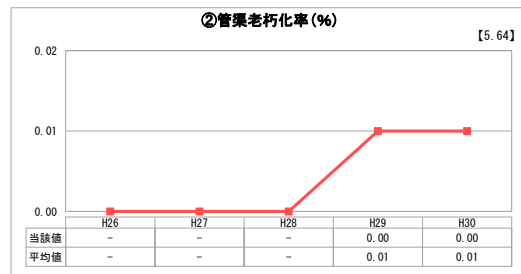
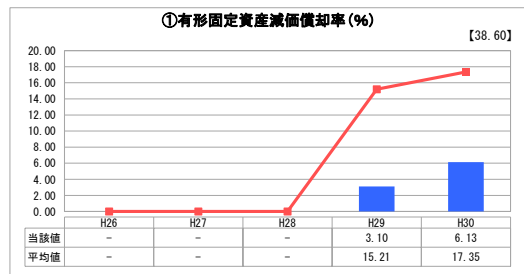
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
102,175	87.57	1,166.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
91,779	25.76	3,562.85

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は121.74%（前年度比1.97%低下）、経費回収率が116.88%（前年度比4.39%低下）と100%を上回り、汚水処理原価も132.30円（前年度比15.09円減）と類似団体平均165.57円と比較して33.27円下回っており、効率的な経営を行っていると言える。

流動比率は、24.28%（前年度比1.61%低下）と類似団体平均と比較して著しく低い数値となっているが、法適後2年目であり、流動資産である現金がまだ少ないためである。

企業債残高対事業規模比率は、538.02%（前年度比23.41%上昇）と類似団体平均の半分程度となっているが、事業開始時に起債した企業債の元金償還が進んだ結果と言える。

水洗化率は92.53%（前年度比0.23%上昇）で類似団体平均を上回っているが、全国平均値以下であるので、未接続世帯の解消が課題である。

これらの経営指標から経営の健全性・効率性は高いと言えるが、今後も経常的な費用の抑制により維持していくことが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

平成28年度より長寿命化計画に基づくマンホール蓋及びマンホールポンプの更新を行っている。令和2年まで継続して行う予定であるが、その後はストックマネジメント計画を策定して、管渠の更新を行う予定である。

管渠改善率が0.02%と低いのは、管渠が比較的新しく、マンホールポンプ等の更新を先行して行っているためである。管渠の大規模更新に着手すれば上昇していく見込みであるが、その更新に必要な財源を確保していくことが必要となる。

## 全体総括

本市は、平成29年度より地方公営企業法を適用し、法適後2回目の決算となる。初年度は、前年度の特別会計より引き継いだ特別収入支出を加えているため、その影響を受けている経営指標もあり、実質的に、初めて比較可能な経営指標が算出されたといえる。

経営指標は全国平均と比較すると概ね良好な数値と言えるが、流動比率等低い指標もある。今後は、更新計画やストックマネジメント計画を活用して、より効果的・効率的な経営を進めていくことが課題である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。